

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		福祉のまちづくり整備助成				所管	福祉部 福祉課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	93	計画事業名	福祉のまちづくり推進		事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] II-1. 個性を活かしたまちづくりの推進						[事業開始] 平成16年度		
		[小 柱] (2) 快適で利用しやすいまちづくり						[終了予定] - 年度		
		[施 策] ②だれもが利用しやすいまちづくり								
	根拠法令等	その他		[法令等名]	台東区福祉のまちづくり整備助成金交付要綱					
	事業対象	直接の対象 : ①診療所、②施術所、③薬局、④その他これらに類する施設 最終的な対象 : 区民一般								
	事業目的	公共的施設のバリアフリー整備を行おうとする者に対し、区がその経費の一部を補助することにより、バリアフリーを促進し、区民の社会的自立と社会参加の機会を拡大する。								
事業内容 [29年度]	医療等施設のバリアフリー整備(①道路から出入口までの通路、②建物の出入口、③その他)に対する助成 ・補助率: 補助対象経費の1/2 ・補助限度額: 100万円									
委託の有無	なし		委託内容	なし						
補助金の有無	都									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績 目標値 達成率		
	活動指標	整備件数		件	2	2	2	0	4	0.0%
		累計整備件数		件	30	24	26	26	34	76.5%
	決算額 (単位: 千円)					27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位: 千円)	人にかかるコスト (人件費など)				1,077	802	838		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				0	0	0		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				1,077	802	0		
		総経費				1,879	1,694	838		
	財源項目 (単位: 千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				0	0	0		
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				538	401	0		
一般財源 (区負担額)				1,341	1,293	838				
前回評価から29年度に改善した事項	なし									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	医療等施設が高齢者や障害者をはじめ誰にとっても利用しやすくなるよう、バリアフリー化を支援していくことは必要である。							
	効率性	3	コストや効率性に大きな変化はない。							
	手段の適切性	3	整備経費の一部を補助することによってバリアフリー化を促進するという手段は適切である。							
目的達成度	1	都条例が求める基準を満たすことが困難である等により助成には至らなかったが、医療等施設からの相談や問い合わせがあった際には必ず現地確認を行い、助成できない理由を丁寧に説明した。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
都条例が求める基準を満たすことが困難である等により助成には至らなかったが、助成制度の周知を図るとともに、助成に関する相談や問い合わせに対して適切に対応した。今後も小規模な医療等施設のバリアフリー化をより一層促進し、施設利用者の利便性を向上させるために、引き続き助成事業を実施していく。						維持		拡大改善 維持 縮小 廃止・終了		